

普通会計決算の概要について

普通会計とは、公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計としてまとめたものをいい、総務省の地方財政状況調査（決算統計）に係る会計区分であり、地方公共団体相互間の比較や時系列比較が行い易い会計区分である。

平成30年度の普通会計は、一般会計、中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計、乙川中部土地区画整理事業特別会計、J R 半田駅前土地区画整理事業特別会計、学校給食特別会計、黒石墓地事業特別会計の6会計から構成され、その決算額は地方財政状況調査として報告をしている。

普通会計の決算額は、各会計を単純に合算するのではなく、各会計間の重複部分（繰入金、繰出金）を控除した純計決算額である。この調査結果は、各種財政分析の資料として用いられるものであり、国の地方財政白書や地方財政の分析・検討等に広く利用されている。

本市の過去5年間の普通会計決算のあらましは次のとおりである。

普 通 会 計 収 支 等 の 状 況 (単位：千円、%)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
歳 入 総 額 A	45,127,861	39,777,531	39,226,985	38,232,195	39,051,647
歳 出 総 額 B	43,519,700	38,267,188	38,018,710	37,133,654	37,133,860
歳入歳出差引額 C=A-B	1,608,161	1,510,343	1,208,275	1,098,541	1,917,787
翌年度へ繰り越すべき財源 D	439,326	366,365	425,283	192,987	406,306
実 質 収 支 E=C-D	1,168,835	1,143,978	782,992	905,554	1,511,481
単 年 度 収 支 F	△259,463	△24,857	△360,986	122,562	605,927
積立金（財調） G	947,566	16,021	10,499	7,239	6,688
繰上償還金 H	0	0	0	0	0
積立金取り崩し額 I	39,716	0	0	0	0
実質単年度収支 J=F+G+H-I	648,387	△8,836	△350,487	129,801	612,615
実質収支比率	4.8	4.6	3.2	3.6	6.1
積立金現在高（財調）	4,173,088	4,189,109	4,199,608	4,206,847	4,213,535
土地開発基金	402,387	403,028	173,662	173,733	173,804
地方債現在高	21,497,432	19,334,520	16,981,227	14,740,698	12,859,097
債務負担行為額	2,856,118	2,235,198	2,290,280	4,288,323	4,552,535
土地開発公社借入残高	2,408,088	2,519,305	1,708,565	1,600,758	1,602,664

（注）平成26年度の土地開発基金は、端数整理により△1千円調整している。

実質収支比率：実質収支額 ÷ 標準財政規模 × 100

平成30年度の普通会計決算は、歳入総額は 39,051,647千円で前年度比 2.1%増（前年度 2.5%減）となり、歳出総額は 37,133,860千円で前年度比 微増（前年度 2.3%減）となった。

歳入歳出差引額は、1,917,787千円で、実質収支は1,511,481千円の黒字決算となり、単年度収支は 605,927千円、実質単年度収支は 612,615千円となった。また、実質収支比率は、前年度より2.5ポイント増の6.1%であった。